在宅取組型＋学校行事参加型＋講演会型（小学校）

学 校 名 等	**恵那市立恵那北小学校**
実 施 日 時	隔月１回／11 月７日(金)
会　　場	自宅／恵那北小学校
参 加 人 数	全校生徒・保護者
学習課題（分野）	**読書活動（家族読書／親子読書会）**
運営者の願い	恵那北小の子ども達は本が大好きである。そんな子ども達にさらに本の世界の楽しさを深めてもらいたい、そして家族で聞いて、親子のふれあいをよりいっそう深めて欲しいと願い、親子読書会を企画した。話題の本の裏側、子ども達の成長にぜひ必要だと考えられる本の世界について、楽しく知って欲しいと思っている。

学　習　の　内　容

＜ 家族読書（在宅取組型） ＞

『家族読書』『友達読書』を交互に毎月一回、在宅で行う。提出した用紙は、次の月まで一カ月間、廊下に掲示される。ここで紹介するのは親子での取組『家族読書』である。

◇『家族読書』…家族で同じ本を読み、感想を書き合う。家族で同じ本の世界を通したふれあいの時間を持つ。

教室前、廊下の掲示

本を書いた人の名前

いっしょに読んだ人

心に残った場面の絵

←『家族読書』取組用紙

お子さんの感想

ご家族からの感想

＜ 親子読書会 ＞ 11月7日(金)

低学年の部：13：55～

高学年の部：14：55～

・低学年の部の時間帯には、高学年は授業参観という、入れ替え二部制で開催。

◇講師　：増田　喜昭氏　（子どもの本専門店『メリーゴーランド』店主）

親子読書会の様子

＜『親子読書会』の感想より ＞

○子ども達と一緒に、素敵な時間を持つことができました。親として少し耳の痛いお話もありましたが、でもそのとおりだと、毎日の子どもに対する自分の態度を改めないといけないなと反省しました。子どもが自分の色を見つける手助けをすること、型にはめて考えず、見守っていく姿勢が親にとって大事なのだと思いました。

○子どもが自分で本を読むようになってからは、本を読んであげることが減って、親子読書の時だけになりがちでしたが、面白い本を紹介していただいて、本を通して関わる機会ができました。

○増田さんの話に大笑いをしている子ども達の顔が本当に楽しそうで、つくづく幸せだな～と感じました。夕食時には本の話題で盛り上がり、また楽しい時間が過ごせました。

＜ 読書まつり ＞ 11月29日(土) 8：45～12：00

本を題材に、学年ごとに舞台を作り上げる学習発表会。

◇PTAとして全体に参加者を募集し『保護者の出し物』をする。

◇参加準備は、図書館司書さんを囲んだサロン型で行われ保護者の交流の場となっている。

◇近隣住民の方々にも参加を呼びかけ、地域行事としても根付いている。

保護者の出し物の様子「早口言葉」

2年生の発表の様子「スイミー」

『読書』を学校経営の軸にし、年間を通して親子がふれあい、学ぶ場となっている。PTA の活動にも『読書』が位置付いている。‘読み聞かせ’‘読書まつり’など、読書に関わる活動が伝統的に行われ、保護者同士の交流の場にもなっている。活動がその場限りでなく、親同士の関係づくりや親子の交流を継続的に促し、親子の学びの意欲につながっていると感じる。

学校の方針や取組が明確で、学校と保護者が一緒に子どもを育てていくという動きが全体に伝わりやすく、保護者の理解を得ていると感じる。

読書まつりの昼食が『おにぎりの日』の取組であるなど、『家族読書』だけでなく在宅取組型が各所に位置付いている。